乙訓青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現を目指し誕生して以来、地域に貢献する団体として37年間にわたり熱い情熱と高い志を持って運動を展開してきました。先輩諸兄姉が脈々と培ってこられた歴史や伝統を継承し継続的に発展するには、乙訓青年会議所を魅力ある人財が集まった組織として発信し、地域の人々に賛同を得る必要があります。

本年度JC運動発信委員会では、 乙訓 のために立ち上った先輩諸兄姉と志高く活動する現役メンバーへの「感謝の心と尊敬の念」を持ち、地域の人々に感動を与え共感を得る時代に沿った新しく強い発信力で魅力ある運動を広く伝播します。そして、何事にも積極果敢に挑むメンバーを下支えしていきます。

まずは、地域の人々に乙訓青年会議所の運動を知って頂き共感を得るために、 乙訓青年会議所主催の事業だけでなく、行政、地域諸団体の取材で得た活動や 様々な分野で活躍されている方と理事長との対談を新聞にて配布します。そし て 、 S N S や ホ 一 ム ペ 一 ジ を 用 い て 各 事 業 の 背 景 や 目 的 を し っ か り と 伝 え 、 写 真 や 動 画 を 効 果 的 に 発 信 す る と 共 に 、 プ レ ス リ リ ー ス を 積 極 的 に 行 い 動 員 に 必 要 な 情 報 を 幅 広 く 発 信 す る 事 で 、 我 々 が 地 域 に 貢 献 す る 団 体 と し て 賛 同 を 得 ま す。また、乙訓青年会議所が継続的に発展するために、4 月メモリアル100% 出席例会を開催し創立を祝うと共に、先輩諸兄姉との交流を行い様々な価値観 を 共 有 し ま す 。 そ し て 、 高 い 志 を 引 継 ぐ 事 で メ ン バ ー 一 人 ひ と り が 自 覚 と 誇 り を 持 ち 、よ り 強 固 で 一 枚 岩 と な っ た 魅 力 の あ る 組 織 と し て 存 在 価 値 を 高 め ま す 。 さ ら に 、 メ ン バ 一 が 出 向 に 対 す る 意 識 を 高 め て 頂 く た め に 、 1 0 月 例 会 を 開 催 し て 出 向 に よ る 出 会 い と 様 々 な 活 動 で 得 た 気 付 き や 学 び を 伝 え る 事 で 、 人 財 の 成長と組織の活性化に繋げます。また、各事業に参画する出向者の支援を行う た め に 、 京 都 ブ ロ ッ ク 会 長 公 式 訪 問 を 開 催 し 、 日 本 青 年 会 議 所 、 近 畿 地 区 協 議 会 、 京 都 ブ ロ ッ ク 協 議 会 の 運 動 に 対 す る 方 向 性 を 伝 え る 事 で 、 魅 カ あ る 人 財 に 成長する一助とします。そして、各事業での参加動員を増やすために、JCI、 日 本 青 年 会 議 所 、 近 畿 地 区 協 議 会 、 京 都 ブ ロ ッ ク 協 議 会 、 府 内 各 地 青 年 会 議 所 の 各 事 業 の 意 義 を 伝 え 取 り ま と め を 迅 速 に 行 う 事 で 、 気 付 き や 学 び の 機 会 が 多 く得られるようにすると共に、メンバー同士の絆の構築に繋げます。さらに、 地 域 に 貢 献 で き る 魅 力 的 な 組 織 と な る た め に 、 会 員 拡 大 活 動 に て 魅 力 構 築 委 員 会と連携を行い、また、まちづくり事業、青少年育成事業や災害支援にも委員 会 メ ン バ ー で 積 極 的 に 参 加 し 協 カ す る 事 で 、 各 委 員 会 と の 和 を 大 切 に し 、 乙 訓 青年会議所の運動が広がるよう努めます。

私自身が何事にも真剣に取り組み率先して行動する事で、魅力ある人となり直志響心の気概を持って委員会メンバーを引っ張ります。そして、委員会メンバーが互いに切磋琢磨し一丸となって活動する事で、一人ひとりが成長し輝ける委員会運営を行い、乙訓青年会議所においてJC運動発信委員会がより一層必要不可欠の存在となるよう邁進して参ります。